

導入したい喫煙対策：屋内全面禁煙施策＋禁煙支援プログラム

検討フェーズ

計画フェーズ

実施フェーズ

維持フェーズ



行動目標

**社長：**対策を優先度高く実施することを決意、担当者を任命  
**社長・担当者：**社員のニーズを把握

**社長：**目的や目標を全社員に宣言  
**担当者：**施策の短期（6～12か月）・中長期目標（3～5年）の実施を計画

**社長：**屋内全面禁煙施策を施行  
**担当者：**禁煙希望者を募集、禁煙を支援

**社長：**対策の継続実施の仕組みづくり  
**担当者：**定期的にニーズアセスメント、目標達成の評価を実施し、対策を調整、継続



つまずきポイント  
(阻害要因)

**障害①**  
経営層（社長や役員）が乗り気でない

**障害②**  
そもそも禁煙支援のニーズが現場にないと思う

**障害③**  
担当者のスキルとリソースがない  
・やり方が分からない  
・自信もない

**障害④**  
担当者が喫煙者と、うまくコミュニケーションがとれない

**障害⑤**  
禁煙希望者が少ない

**障害⑥**  
受動喫煙対策の遵守率が低い

**障害⑦**  
終了後、次の計画に結びつかない  
担当者が異動する



解決ポイント  
(対応策)

**障害①対応策**  
・喫煙対策のメリットを多面的に説明する  
・リーダーによる明確な指揮が重要であることを説明する

**障害②対応策**  
・社員アンケートを実施する

**障害③対応策**  
やり方がわからない  
・外部研修や他社事例から、やり方を学ぶ  
・喫煙対策の目標や実施計画を立てる

自信がない  
・エビデンスのある資料を活用する  
・職場の喫煙対策の専門家に協力を依頼する

**障害④対応策**  
・禁煙支援の専門家を活用する  
・禁煙成功者やサポーターを巻き込む  
・喫煙以外のテーマを前面に出す  
・今はやめない意思も尊重する

**障害⑤対応策**  
・禁煙治療の情報提供と利用を推奨する  
・段階的な制度化を実施する

**障害⑥対応策**  
・社員のニーズを把握する  
・他社の成功事例を参照する

**障害⑦対応策**  
・禁煙支援の専門家に継続支援してもらう  
・担当者を複数人体制にする